



Knots NEXT "One World, One Life"

公益社団法人 Knots ノッツ・結び目 WEBサイト <http://knots.or.jp> [今号のメッセージ]

北海道大学大学院獣医学研究 院・教授／北海道大学総合博 物館・館長 坪田敏男

地球温暖化がますます深 刻度を増し、ホッキョ クグマをはじめクマの 生態に影響が始めて います。とくに極域の 影響は深刻で、明らか にホッキョクグマの個 体数が減少しています。 昨年4月に、カナダ・ ハドソン湾でのホッキョ

♥ 公益社団法人Knots(結び目)は、「人と(ヒト以外の)動物の幸せな共生」をテーマに主に社会教育事業を行っています。

♥ Knotsが日頃お世話になっております素敵な皆さまから、メッセージを頂クシリーズです。

人とクマが共に生きられる環境を未来に

昨年、日本では、た くさんのクマが人里に 出没し、200人以上の方 がクマによる人身被害 に遭いました。クマの方 も、ヒグマとツキノワ グマ合わせて8000 頭が捕殺されました。 一方、世界では、地 球温暖化がますます深 刻度を増し、ホッキョ クグマをはじめクマの 生態に影響が始めて います。とくに極域の 影響は深刻で、明らか にホッキョクグマの個 体数が減少しています。 昨年4月に、カナダ・

クグマ生態調査に参加 して、初めてホッキョク グマ捕獲調査に参加させ てもらいました。 大学のアンドリュー・デ ロシエール教授にお願ひ 間10日間のうち、天候に

より調査に出られたのは 4日間のみでしたが、その 間に9頭のホッキョクグマ 生態調査に立ち会うこと ができました。 私が赴いた4月は、海 氷がびつしり覆い尽くす

中、巧みにアザラシ狩 りを行っていました。6 月には既に二部の海水 が融け、ホッキョクグマ は余儀なく陸に上らな ざるを得ない状況になっ たと聞きました。



坪田先生 クラウドファンデイング QRコード



このような状況にあつ て、ますますクマの生態 に関する科学的情報が 必要になるのは間違いあ りません。

そこで2024年3月 4日〜4月15日の43日 間にわたつて2度目のク ラウドファンディングに 挑戦することにしました。

まずは、種々のクマ類 の生態と生理に関する研 究をさらに推進します。 また、これまでにわかっ

てきた科学的知見をよ りわかりやすい言葉で 社会に発信する普及啓 発活動に力を注ぎます。 さらに、若手研究者 との共同研究を実施し ます。このように、①調

査研究、②普及啓発、 ③若手研究者との共同 研究という3本柱で2 回目のクラウドファン ディングに挑戦します。

ぜひ皆様方からご支 援を賜りますようお願い いたします。